

令和 6年 6月26日

長野県知事 阿部 守一 様

## 令和6年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和4年度から令和6年度	
会社名	木下建工株式会社	
住所	〒384-0303 長野県佐久市下小田切293番地5	
代表者名	代表取締役 木下 修	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	総務部	
担当者名	高見澤忠彦	
連絡先	TEL	0267-82-2213
	FAX	0267-82-3148
	電子メールアドレス	info@k-knekou.co.jp
ホームページアドレス	https://k-kenkou.co.jp	

## 1 産業廃棄物3R実践方針

産業廃棄物の発生抑制、およびリサイクルの促進を最重点項目において活動する。  
 総排出量に関する目標値は、その年度の仕事受注量、工事内容によって大きく変動するので、単純に比較は出来ない。そのためリサイクル率に重点を置き取り組む。具体的にはコンクリート、アスファルト、木材の各産業廃棄物を分別し、リサイクル率を100%に近づけるよう全社員で取り組んでいく。  
 当社の大きな柱である保全事業（コンクリート構造物の補修補強・橋梁耐震補強工事）も業績を順調に伸ばしてきており、さらに事業を拡充し、既存の構造物を壊すことなく再生し資源の有効利用、廃棄物の減量化に寄与していく。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
総排出量の推移 (t)	10,000	4,606	2,928	13,810
リサイクル量の推移 (t)	10,000	4,606	2,928	13,810
売上高の推移 (円)	1,600,000,000	1,600,114,000	1,943,848,000	1,451,087,000

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

工事実施段階においては、工程計画及び設計内容を発注前に十分確認し、適正量の適正時期発注に努める。外部から購入する資機材に対しては、納入時に最低必要の梱包材にしてもらうよう、発注時に働き掛ける。

当社設計施工の物件については、施主様に環境負荷の少ない材料・工法を積極的に提案し理解を求める。  
また、少量の産業廃棄物も現場で分別し、少しでもリサイクル出来るようにする。

ISO14001 マネジメントシステムの活動の一環として、環境方針を定め、各部門毎の環境目的・目標にそって環境保護のための取組を、社員全員の意識を高めながら実施する。

当社の大きな柱である保全事業（コンクリート構造物の補修補強・橋梁耐震補強工事）をさらに拡充し、既存の構造物を壊すことなく再生し資源の有効利用、廃棄物の減量化に今後とも寄与する。

電子マニフェスト及び委託契約の電子契約システムの導入により、対応業者を拡大し、適正で効果的な運用に心がける。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
アスファルト再生材	100	100	100	100
コンクリート塊再生材	100	100	100	100
全体	100	100	100	100